

# 糸魚川市真木地区土砂災害の現地調査を実施

国土交通省北陸地方整備局  
松本砂防事務所

平成29年10月25日

台風第21号に伴う豪雨により、10月23日14時頃、糸魚川市真木地区で土砂災害が発生しました。新潟県の要請を受け、国立研究開発法人土木研究所の土砂災害専門家とともに、北陸地方整備局河川計画課、松本砂防事務所等の職員が現地調査を実施し、新潟県へ助言を行いました。

## 概要

- ・平成29年10月23日14時頃発生
- ・平成29年10月22日2時～10月23日14時までの連続雨量318mm  
(糸魚川地域振興局:道平観測所にて観測)
- ・上流から流出した土砂は二級河川海川を埋塞させ、せき止められた河川水は海川脇の水田を流下し、下流で再び海川に流入している



## 現地調査結果(土砂災害専門家による助言)

- ・谷上部が崩壊。崩壊地上部に亀裂があり、溪流内の堆積土砂は多量の水を含んでおり、移動しやすい状態。
- ・流域監視及び不安定土塊への水供給防止のため水処理対策が必要。

## 新潟県による応急対策の実施

現在までに、河道確保のため河道を埋塞した土砂を掘削し、水田への流入防止のため土のうを設置。今後は土砂災害専門家からの助言を踏まえた流域の監視や不安定土塊に水が供給されないよう水処理対策を行う予定。

